

CASBEE-広島 2014年版
(仮称)ヴェルディ江波本町Ⅲ

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.40		-	3.3
1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00	3.0
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.2	0.50	
1 開口部遮音性能	住戸のサッシュはT-1を基本とする	3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能	コンクリート躯体は厚200以上を確保している	-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	遮音性に優れた防音タイプのフローリングを採用している	-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温		3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	4.0	1.00	3.8
3.1 昼光利用		3.0	0.43	4.0	0.50	
1 昼光率	居室に対して開口の大きいサッシュを採用している	-	-	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		-	-	4.0	0.50	
1 昼光制御	カーテン、庇を組み合わせて制御	-	-	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.21	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.36	-	-	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	住戸内建築材料はほぼF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		1.8	0.40	3.6	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.57	4.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	住戸内LAN対応配管、光ケーブル対応としている	-	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画		1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.43	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級が等級2相当である	4.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			2.6	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	節水型器具を採用し、配管の系統区分にも配慮した。	3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20			
5	通信・情報設備	情報設備機能の多様化を図る	3.0	0.20			
3 対応性・更新性			2.8	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					3.2	0.50	
1	階高のゆとり	天井高確保のため階高を2.91m以上に設定している			4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		2.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.1
LR1 エネルギー				0.40			3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20			3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 1.03	3.8	0.50			3.8
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.8				
集合住宅の評価(3c)		高効率照明(LED他)を多く採用している	3.8	1.00			
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
集合住宅の評価			3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				0.30			2.7
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1 節水		設備機器は節水機能のものを使用する	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00			
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-			
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60			2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.2
1 地球温暖化への配慮		計画においてある程度の条件を満たす	4.1	0.33			4.1
2 地域環境への配慮			2.4	0.33			2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制		3.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0	-			
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明は計画的に配置する。屋外広告はない。	5.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			